

平成 17 年 8 月 1 日

村田国家公安委員長 様
内閣府犯罪被害者等施策推進室 御中

犯罪被害者等基本計画検討会の実施につきましては第 1 回より毎回大変なご苦勞があったとお察し申し上げます。できる限り誠実に犯罪被害者等の要望を一つ一つ扱っていただいたことを感謝します。もちろん、それぞれの内容については議論の時間が不足だったり、私としては十分とは思えないものもありますが、全体として、この短い期間の無理な日程の中での会議としては、予想外に深く議論できた部分もあると思っております。

特に村田大臣には、毎回長時間の出席いただき、特に初期のころに、行政側に「もっと積極的に考えなければいけない」と言ってくださったこと、大変ありがたく思いました。今後の骨子案から基本計画を策定し、施策を実現していく過程を考えて見ますと、やはり必要な予算の裏づけを与えることが、大変重要だと考えます。今後も大臣の強力なリーダーシップによって有効な基本計画が決定され、犯罪被害者等のための施策が実現されることを希望します。

犯罪被害者等基本計画検討会構成員
武蔵野大学 小西聖子